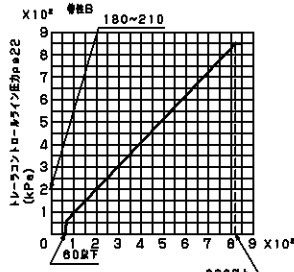
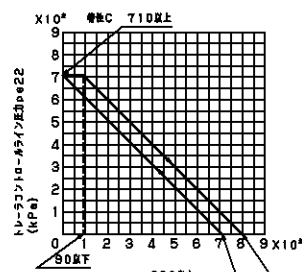


サービスペーライン圧力 p41, p42 (kPa)



サービスペーライン圧力 p42 (kPa)



サービスペーライン圧力 p43 (kPa)

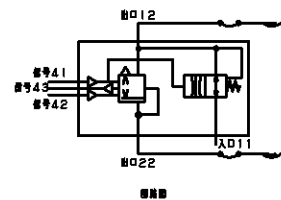


図 1

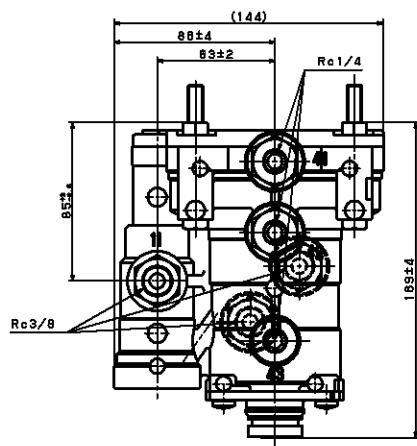
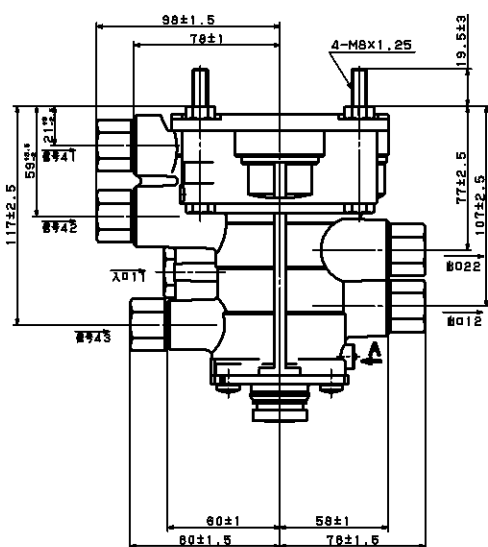
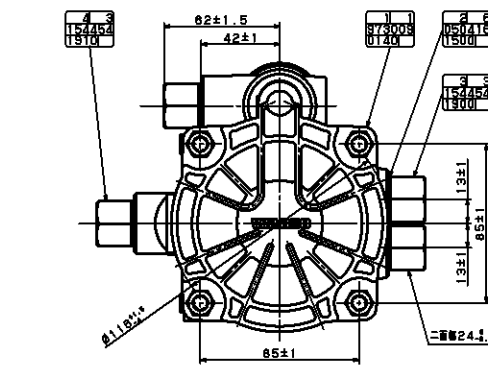


図 2



注)

1) 作動特性

1-1) ポート11の圧力が850kPaのとき下記の特性を示すこと。

1-1-1) ポート43の圧力を850kPaとし、ポート41の圧力が50kPaの場合、ポート22の圧力は1~30kPaで可変すること。

ポート41の圧力を0~1000kPaに変化させた時、ポート22の圧力は左記の特性を示すこと。30kPa以下のステップで可変すること。

1-1-2) ポート43の圧力を850kPaとし、ポート42に加圧する時、ポート42の圧力が80kPaの場合、ポート22の圧力は、1~30kPaで可変すること。また、ポート42の圧力を0~1000kPaに変化させた時、左記の特性を示すこと。30kPa以下のステップで可変すること。

1-1-3) ポート41、42の圧力を0kPaとし、ポート43の圧力を850~0~850kPaに変化させた時、左記の特性を示すこと。50kPa以下のステップで可変すること。

1-1-4) ポート41、42に同時に圧力を加えた場合 (正作動時)、ポート22の圧力は左記の特性を示すこと。

1-2) ポート11、42、43を大気開放し、ポート41の圧力が170kPa以下でポート11のピストンが作動すること。

2) エア漏れ

2-1) 常時: エア圧力を0~850kPaに変化させた時、各等の漏れ8cm³/min以下のこと。

2-2) 常時: エア圧力を850kPaとし、流量を+40℃に24時間とした使用に基いて試験を行い、トレーフ・コントロールラインが50kPa以下のステップで急激に昇圧及び降圧すること。また各等の漏れは1.5dm³/min以下のこと。

2-3) 高温時: 加圧せずに流量を+110℃に1時間とした後、流量まで冷却した時に流量1-1-1から1-1-3を満足し、エア圧を0~850kPaに変化させた時、各等の漏れ8cm³/min以下のこと。

2-4) 高温時: エア圧を850kPaとし、流量を+80℃に24時間とした使用に基いて試験を行い、トレーフ・コントロールラインが850kPaまで30kPa以下のステップで可変すること。各等の漏れ8cm³/min以下のこと。

3) 耐久試験

耐久試験条件

試料番号	ポート	サブプライライン圧		試験速度				試験時間
		ポート	圧力	ポート	流量	温度	圧力	
		41, 42, 43		11, 43		(-40℃)	(+80℃)	
1	250kPa×60s 1000kPa×10s	○	850kPa	○	○			15
2	250kPa×60s 1000kPa×10s	○	850kPa	○	○	○		4
3	250kPa×60s 1000kPa×10s	○	850kPa	○	○		○	15
4	250kPa×60s 1000kPa×10s	○	850kPa	○	○			15
5	850kPa	○	850kPa	○	○			15
6	850kPa	○	850kPa	○		○		4
7	850kPa	○	850kPa	○			○	15
8	850kPa	○	850kPa	○	○			15
9	1200kPa	○	1800kPa	○	○			15
10	1200kPa	○	1800kPa	○	○	○		4
11	1200kPa	○	1800kPa	○	○		○	15
12	1800kPa	○	1800kPa	○	○			15
13	1800kPa	○	1800kPa	○		○		4

上記耐久テスト後、

・ポート41、42の圧力が30kPa以下、またポート43の圧力が50kPa以下のステップで可変すること。

・上記耐久テスト後、2-1) 項のエア漏れ試験を行いエアリークテスト後、その漏れが1.5dm³/min以下であること。

4) 耐久

4-1) 各ポートはダストシールドすること。

4-2) 重量3及び4の合計は29.4~39.2N・m

5) 作動圧力 ポート41、42: 1000kPa以下

ポート11、43: 850kPa以下

6) 最大圧力 (常時) ポート41、42: 1200kPa以下

ポート11: 1000kPa以下

ポート43: 1000kPa以下

7) トレーフのブレーキラインが接続したポート41とポート11の間に正圧が生じると、スロットバルブ (後) の開口面積を9mmから9.2mmに減少する。

8) 潤滑油 (バック) はT1101 (スーパードット (油)) を使用する。必要に応じて、変更すること。

9) 潤滑油はWABCO 9T3 009 014.0である。

10) 使用温度範囲 -40℃~+80℃

製品番号		ワフコ ジャパン株式会社	
品名		VABCO Japan Inc.	
品名	品名	品名	品名
品名	品名	品名	品名
1 54 457 000 0		1 54 457 000 0	